

原風景の残る島 Ineja Island

広報

いねや



伊平屋村

3

2019

No.322

伊平屋島で STRA INEYA VILLAGE TRAIL を楽しむ。





3rd IHEYA VILLAGE TRAIL





「第3回伊平屋トレイル」が
 1月26日、伊平屋村の友愛と健康の広場を
 発着点であり、218人が完走した。参加
 者は29人で、完走率は91.2%だっ
 た。参加者は、30㍎、15㍎、5㍎の3コ
 久に分かれ、島の原風景の中、マヤノ
 クを楽しみながら、爽快に駆け抜けた。30
 ㍎部門は、男子は成瀬康夫さんが2時間44
 分04秒、女子は諸見里綾さんが3時間48分

00秒で優勝。15㍎部門は、男子は田福量志さん
 が1時間31分57秒、女子は知念未輪子さんが2
 時間1分10秒で優勝した。田福さんは去年12キ
 ロに出場し、優勝している。5㍎部門は男子
 は伊與田大輝さんが30分40秒、女子は池野愛菜
 さんが40分08秒で優勝した。参加者は「景色が
 最高でした。また来年も参加したいですね。」
 と話した。



受験ガンバロウ&卒業記念登山

1/5

中学3年生、賀陽山の頂へ！

「受験ガンバロウ&卒業記念登山」が賀陽山で行われた。伊平屋中、野甫中の3年生と家族、教職員らと歴史民俗資料館の西藤優三さん、計31名が参加。交流を深めると共に受験に向けて島発ちを前に、島で一番高い頂上に登り、島を見渡すことで高い目標を持ち、島への想いを抱く機会とし行われた。小雨で初登山の生徒がほとんどだったが、全員が元気に登頂（293m）。途中の史跡では、西藤さんに説明をしてもらい、500年前の島の歴史に触れた。伊平屋中3年の末吉颯太君は「初めての登山はきつかったけれど、無事に登ることができた。山頂からみる眺めは伊平屋の島の自然が見渡せて最高だった。島発ちの思い出になった。受験ではもっと高い山をみんなで励まし合って乗り越えたい。」と話した。



伊平屋小学校租税教室

1/6

税金がなくなったら？

伊平屋小6年生を対象に租税教室が伊平屋小学校で行われた。名護税務署より伊地祐介さんを講師としてお招きし、『税金が何に使われているのか。』について、生徒たちに考えさせながら授業は進められた。村役場会計課比嘉正和さんからは、消費税、所得税など様々な税の種類について教えて頂いた。伊地さんに1億円の束も見せて頂き、子供たちは実際に持ち上げたりして重さを確かめた。津田徠斗さんは「消費税や所得税などの様々な種類があること、また、税金は身の回りの机やいす、教科書などに使われていることがわかりました。これからはお金の大切さを知り、どのように使っていくべきか考えながら使っていきたい。」と話した。

平成31年度に向けて民泊に関する講演会

1/17

来年度民泊に向けての講演会。

民家さん（民泊を行っている方）を対象に「平成31年度に向けて修学旅行の受入取組及び安全性の強化について」の講演会が伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。今年度、伊平屋では沖縄県本島の小学生を受け入れる離島体験事業で5校482名を受け入れ、昨年度の373名より約170%増となっている。来年度、修学旅行受入れは21校、来年度に向けて民家さんの疑問や不安を解消することを目的として今回の講演会が行われた。宮古島のさるかの里 代表 松原敬子氏が「宮古島さるかの里民泊取り組み」と題し、実際どのように宮古島で民泊を行っているのかについて講演した。伊平屋島観光協会 名嘉律夫会長は「今日のお話を今後の事業に生かしていければと思います。これからの事業をみんなで成功させて魅力のある島にしていきたいなと思っています。」と話した。





平成 30 年度 沖縄県知事行政視察

1/18

玉城デニー県知事が伊平屋視察。



玉城デニー沖縄県知事が行政視察のため伊平屋村を訪れた。9時40分頃、伊是名島から野甫港に到着した玉城知事は、午前中、伊平屋空港建設予定地、伊平屋伊是名架橋建設予定地、我喜屋ダム、伊平屋漁港荷さばき所を視察。午後には伊平屋村長をはじめ、各団体の会長等も交えて、意見交換会が行われた。午後は伊平屋村高齢者福祉センター（とらず園）を訪れ利用者と交流、その後、伊平屋中学校を訪れ、伊平屋中学校、野甫中学校の児童生徒に「島の将来のためにできること」～沖縄県の離島振興について～と題し、講演会を行った。その後、ライスセンター、アカシ船揚場、国指定天然記念物「伊平屋島の念頭平松」、伊平屋天巖戸神社、クマヤ洞窟の視察も行った。



伊平屋空港建設予定地視察



伊平屋村高齢者福祉センター（とらず園）訪問



伊平屋、野甫中学校児童生徒への講演会（伊平屋中）

県立博物館・美術館 第11回移動展 in 伊平屋島

1/18-20

県立博物館・美術館移動展開催！

沖縄県立博物館・美術館第11回移動展 in 伊平屋島が1月18日～20日の3日間、伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。18日にはオープニングセレモニーが開催され、伊平屋村の視察に訪れていた玉城デニー沖縄県知事や伊平屋村長ら約30名がセレモニーに参加。伊平屋中2年生で生徒会長の瀬良垣彩さんらによるテープカットも行われ、その後、参加者らは館内を見学した。18日の夜には県立博物館美術館 田名真之 館長による講演会「伊平屋島の歴史と文化」が歴史民俗資料館で行われ、約35名が参加した。

県立博物館美術館の宇佐美賢さん、山本正昭さんを講師とし、19日午前9時から「伊平屋島の岩石・遺跡を探検しよう！」フィールドツアー in 伊平屋島が開催された。5歳から65歳まで幅広い年齢層の方々が20名参加した。ヤヘー岩周辺を観察し、ヤヘーグスクに関するお話を聞き、野甫島で砂が堆積して島ができた様子（地層）を観察し、石切場跡の話聞いた。19日午後7時から石切り場のナイトツアー＆星空観察会が開催され、27名が参加。石切場の説明を聞いた後、野甫小中学校で望遠鏡を使った星空観察を行った。クレーターを観察、一番明るい星のシリウスや星がかたまっているスバルなどを観察した。



組踊上演 300 周年記念キャッチコピー

1/22

キャッチコピーで最優秀賞！

組踊上演 300 周年記念キャッチコピーで沖縄県内外から 940 点の応募があった中、野甫小学校 6 年の名嘉うららさんの作品「広げよう この感動を つなごう まだ見ぬ未来まで」が最優秀賞を受賞した。1 月 22 日、名嘉さんは先生らとともに受賞報告のため、村役場村長室を訪れた。名嘉さんは「この賞を獲得することができて嬉しかったし、沖縄の伝統文化にも関わることができたのでこれからも組踊とか他の沖縄の伝統文化にも触れていきたいなと思います。」と話した。



平成 30 年度冬季境港市交流会

1/24-28

村内の小学 5 年生が境港へ。

平成 30 年度冬季境港市交流会が 1 月 24 日から 28 日の 4 泊 5 日で、鳥取県境港市で行われた。「もずく」でつながりのある伊平屋村と境港市が、平成 8 年度より「山陰中央新報社」主催、「株式会社 海産物のきむらや」協賛で、子ども達の教育交流を目的に始まったもので、今年も伊平屋小学校・野甫小学校の 5 年生 15 名が訪問し、境小学校の子供たちと一緒に授業を受けたり、一緒に食事をしたりして交流した。夏には境港の子供たちが伊平屋を訪れており、久々の嬉しい再会となった。(株)海産物きむらやの工場見学やスキー体験もし、子供たちにとって忘れられない体験となった。



JA おきなわ伊平屋支店より地域活動支援センター「アラス」に寄贈

1/30

多くの方々と一緒に活動したい！

JA おきなわ伊平屋支店親川健二支店長が伊平屋村社会福祉協議会を訪れ、伊平屋村地域活動支援センターアラスに堆肥が寄贈され、メンバーの代表としての伊礼美津子さんが受け取った。アラスは現在、スタッフの藤田智恵子さん、石川康子さんとともに村内の障がい者の方々 9 名が活動している。以前は「ワンツーパーチの会」と呼ばれており、平成 30 年 8 月にとらず園施設内に「アラス」として開設された。村まつりでピザを販売したり、国指定天然記念物「伊平屋島の念頭平松」を利用した香り袋、クバの葉のしめ縄、島の花の押花のしおりなどを地域の方々から教えてもらって制作、販売をするなど様々な活動を行っている。平成 31 年から、食の大切さを学ぶため、作物の種まきから開始し、畑土壌作りも行った。このような活動に役立ててほしいと今回、JA より堆肥の寄贈が行われた。藤田さんは「2 月末にはとらず園に通う先輩の農家さんに教えてもらいながら一緒にポット苗から畑へ植える予定です。今後でもできることを 1 つ 1 つ増やしながらか、多くの方々と一緒に活動していきたいです。」と話した。





平成 30 年度地域福祉講演会

1/31

村のことをみんなで考えよう。



伊平屋村社会福祉協議会主催の講演会「これからの地域福祉 伊平屋村ことをみんなで考えよう」が伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロック

の阿部かおりさんら4名が伊平屋村を訪れ、村民を対象にこれからの地域福祉について講演会を行い、約30名が参加した。高齢者への手助けは、すべてを一方向的にやってあげるのではなく、高齢者の方々にも出来ることがたくさんあることを理解し、縫い物、農業などそれぞれの得意なこと、出来ることはやっていただき、「生きがい」を持っていただく事も重要。歳をとっても、寝たきりになっても、自分が生かされているのだと思ってもらえるような社会を目指す。また「尊厳の保持」、自分が福祉をやっているから、わかっているからと、いきなりズケズケ入っていくのではなく、本人の思いも考慮し、時間をかけながら心の距離を縮めていくということも大切。村社会福祉協議会の名嘉正明会長は「みんなで伊平屋村の地域福祉について考えていかなければならないということを改めて感じました。」と話した。

伊平屋小学校・伊平屋幼稚園津波避難訓練

2/1

もしも地震が起きたら。

伊平屋幼稚園・伊平屋小学校の津波避難訓練が行われた。地震後、津波発生を想定した避難訓練で「只今地震が発生しています！先生の指示に従ってください！」と校内放送が流れ、子供たちは先生の指示に従い、走って村道32号線を通り、指定された1次避難所（林道 第1待機場所）へ避難した。金城正武校長先生は「いつどこにいる時に地震が起きるかわからない。状況判断して避難するように。」と話した。伊平屋駐在所の田中健巡查部長は「避難する時に交通事故で亡くられる方もいるので、逃げる時にも注意することが大事。また、地震はいつ起きるかわからない。日頃から保護者とも話をして、もしもの時、どこに逃げたらいいのか話しておくことも大事です。」と話した。



第5回伝統文化学習発表会

第5回伝統文化学習発表会

2/2

学んだ伝統文化を披露。



伊平屋村教育委員会主催の第5回伝統文化学習発表会が伊平屋村離島振興総合センター大ホールで行われた。伊平屋中学校2年生の仲地星空君の司会進行で、伊平屋村民俗芸能保存会の皆様による幕開けで始まった発表会。各字の子供たちは毎月の『伝統文化学習の日』で学んだ舞踊、三線、鏡石太鼓、棒術、方言教室、エイサーなど学んだ成果を舞台の上で堂々と披露した。ものづくり教室、書道教室の子供たちは動画で作製、練習風景を発表した。展示会場には書道教室の作品や昔の玩具など子供たちが作った作品が展示された。伊平屋村教育委員会の東恩納吉一教育長は「中学生の発表はさすがだなと感じます。本日は全般的に立派な発表だったと思います。」と話した。

妊婦さんへ

平成31年4月から産前産後期間の国民年金保険料が免除となります。

免除期間：出産予定日又は出産日が属する月の前月から4か月間（以下「産前産後期間」といいます。）の国民年金保険料が免除されます。

なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日又は出産日が属する月の3か月前から6か月間の国民年金保険料が免除されます。

※出産とは、妊娠85日（4か月）以上の出産をいいます。（死産、流産、早産された方を含みます。）

対象者：「国民年金第1号被保険」で出産日が平成31年2月1日以降の方

届出時期：出産予定日の6か月前から届出可能ですので、速やかに届出ください。

※ただし、届出ができるのは平成31年4月からです。

届出先：伊平屋村役場の国民年金担当窓口

施行日：平成31年4月1日

【お問い合わせ】伊平屋村役場住民課 TEL:0980-46-2142

平成31年度「広報いへや」購読者募集！

「広報いへや」の定期購読者を募集致します。郵送料を購読者の皆様にご負担して頂いております。

村財政の厳しい状況をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い致します。

金額：年間1,500円 ※振込手数料別

振込先：JAおきなわ伊平屋支店 伊平屋会計管理者

普通口座：番号 0049325

振込期間：平成31年3月1日（金）～

○お振り込みが確認された方につきましては、平成31年度（平成31年4月号から平成32年3月号まで）の「広報いへや」を毎月送付させていただきます。

※ご新規の方（平成30年度に購読されていない方）は送付先のご住所・お名前・ご連絡先をメール(kouhou@vill.iheya.okinawa.jp)もしくはFAX(0980-46-2956)にて伊平屋村役場総務課 広報担当宛にお送りください。

※『広報いへや』は下記から無料で閲覧できます。

①伊平屋村 HP : <http://www.vill.iheya.okinawa.jp>

②マイ広報紙 : <https://mykoho.jp/>

1. 『広報紙・記事をさがす』をクリック。→2. ひらがなで『いへや』と検索し、閲覧。

③マチイロ（アプリ）：スマホにダウンロードにして、アプリより閲覧。

マチを好きになるアプリ

マチイロ

毎月発行日に自動配信

ダウンロードはこちらから

App Store からダウンロード

Google Play マチにアプリ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん！

- 1 役立つ行政情報を見逃さない！
- 2 自分に合わせた情報が届く！
- 3 いろいろなマチの魅力をお届け！

アプリの使用は無料ですが、通信費は利用者負担となります。広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで

【お問い合わせ】伊平屋村役場総務課 TEL:0980-46-2001

| 講習会名 | 受講料 | 定員 | 日時 | 会場 | 備考 |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小型移動式クレーン 運転技能講習 | 免除無し ¥27,565 (テキスト代込) 一科目免除有り ¥25,405 (テキスト代込) 二科目免除有り ¥23,245 (テキスト代込) | 40名 | 学科 3/18(月) 9:00～17:00 3/19(火) 9:00～17:00 実技 3/20(水) 9:00～18:00 | 学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市宇名護4607-41) | 吊り上げ荷重1t以上 5t未満の小型移動式 クレーンの運転業務 (道路上の走行を除く) |
| 安全衛生推進者 養成講習 | ¥12,204 (テキスト代込) | 40名 | 4/18(木) 9:00～12:10 4/19(金) 9:00～17:00 | 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) | 10人以上50人未満 の労働者を使用する 事業場 |
| 酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者 技能講習 | ¥16,200 (テキスト代込) | 40名 | 学科 4/23(火) 9:00～17:00 4/24(水) 10:00～17:00 実技 4/25(木) 9:00～16:00 | 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) | 酸素欠乏や硫化水素 中毒が発生しやすい 現場の作業に労働者 を就かせる場合には 本講習を修了した者 のうちから作業主任 者を選任し、関係労働 者を直接指揮等させ なければならない |

※申込みは先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
 ※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。
 ※顔写真2枚(縦3cm×横2.4cm)必要となりますのでお申し込み時に提出して下さい。
 ※受付後の申込書と受講料はお返しいたしません。講習日程の振替も行いませんので、キャンセルや遅刻、欠席をしないようご注意ください。

お問い合わせ先

(一社) 沖縄県労働基準協会 北部支部
 名護市宇茂佐の森5-2-7 (北部会館4階)
 TEL 0980-54-4700
 FAX 0980-52-7004

歴史民俗資料館だより



今年に分村80周年です

今年、平成31年、西暦2019年は伊平屋村と伊是名村の分村から80周年になります。1916年(大正5年)に沖縄県に対し分離請願書を提出し、1939年(昭和14年)に当時の内務省から分村が許可されました。

80年間に变化したこと、変わらなかったことの両面があります。变化したことの代表は交通事情でしょうか? 船が停泊する港も大きくなり、船も車が運べるようなフェリーになりました。いまではほとんどの家庭で自家用車を保有しています。

一方で、終戦直後の74年前の写真を見ると馬車も乗り合いで利用し、船も大きな船が接岸できず、小舟に乗り換えて乗船している様子わかります。

今回紹介したい写真は、乗り物・交通機関の発達の過渡期のものです。第1伊平屋丸の時代のもので、よく見ると船が接岸できる港になっていますが、車を乗せられるような大きなフェリーではありません。また、栈橋に集まっているのはトラックなどの自動車と馬車の両方があることに気がつきます。

このような「変化の途中」は現在でも続いています。これからの80年後に現在を振り返ると「何が变化した時代」にみえるのかを考えるのも楽しい未来予測かもしれません。



伊平屋の
おもてなし
文化

いへやじゅうてー



伊平屋を堪能

沖縄タイムスふるさと元氣応援企画「いへやじゅうてー」、人情味あふれる原風景の郷「伊平屋村観光・物産と芸能フェア」が2月8日～10日の3日間、那覇市のタイムスビルで開かれた。総来場者数は7551名だった。

魚介類や地酒、伊平屋産米ちゅらひかり、黒糖などの特産品を求め、会場には多くのお客さんが詰めかけた。伊平屋の風景写真などの展示会、諸見美咲子さんらによるクバ笠作りの体験教室など賑わいを見せた。会場のディスプレイは伊平屋の自生植物を使った民具アトリエ種水土花（しゅみどか）の是枝麻紗美さん（我喜屋在住）が手がけ、伊平屋のクバなどで華やかに飾られた。

タイムスホールでは民俗芸能や伊平屋村の歴史を描いた現代版組踊「てるしのの光」も上演され、観客を魅了した。上演を見た方は「子供たちが頑張っている姿を見て涙が出た。」と話した。

伊平屋のおもてなしを意味する「いへやじゅうてー」がたくさん詰まった3日間の伊平屋フェアは大盛況で幕を閉じた。





抽選で1等をGETした伊礼大広君。



村民約100人が民俗芸能を披露し観客を魅了した。



諸見美咲子さん(写真中央)らがクバ笠作り体験教室を開催。



マウロカレ



外ではヤギ汁、伊勢海老汁などを販売。完売するほどの大盛況。



塩夢寿美



ヤギ汁



うずまきもち



もずくのだまご



伊平屋の地酒など特産品を販売。



てるしの一味



島だこの油みそ



しまぐみ



伊平屋の島寿司も販売。写真は左から嘉納千恵子さん、上原恵子さん、仲栄真芳子さん。



現代版組踊「てるしの光」を披露した伊平屋村の子供たち。



けいのナーガラス



伊平屋の島寿司

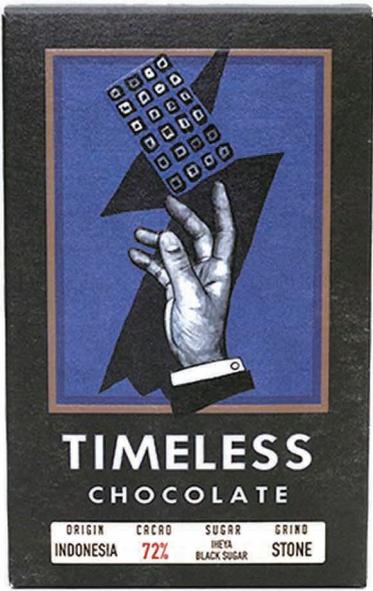
伊平屋産黒糖を使った沖縄のチョコレート。

TIMELESS CHOCOLATE HOME STORY FACTORY

みなさん、このチョコレート知ってますか。

沖縄県北谷にある『タイムレスチョコレート』さんが販売するシングルオリジンチョコレートインドネシア。このチョコレートにはインドネシア産カカオ豆と**伊平屋産の黒糖**が使用されています。タイムレスチョコレートさんは、2014年沖縄初となる”Bean to Bar”スタイルのチョコレート専門店として誕生し、沖縄でしか実現出来ないチョコレートを日々手作りされています。「伊平屋の黒糖を特に気に入り、大切に誇りを持って使わせて頂いています」とのこと、このような想いを持って伊平屋のものを使って頂いていると聞くと、とても嬉しいものですね。みなさんも是非、北谷のお店に足を運んでみてはいかがでしょうか。

<https://timelesschocolate.com/>



TIMELESS CHOCOLATE

ORIGIN INDONESIA CACAO 72% SUGAR 100% BLACK SUGAR GRIND STONE

伊平屋村の行事予定表 schedule

| 3月 March | | | 4月 April | | |
|----------|---|---------------------------------|----------|---|---------------------------|
| 1日 | 金 | ミニデイ（前泊） 県立高校卒業式 保育所ひなまつり | 1日 | 月 | 村辞令交付式 保育所入所式 |
| 5日 | 火 | 予防接種 ミニデイ（我喜屋） | 7日 | 日 | 浜下り（旧暦3/3） |
| 6日 | 水 | 県立高校入試 ミニデイ（島尻） | 8日 | 月 | 始業式（村内三校） 入学式（伊中・野甫小中） |
| 7日 | 木 | 県立高校入試 弁当の日 | 9日 | 火 | 入学式（伊小） てるしの塾開講式 |
| 9日 | 土 | 卒業式（伊平屋中） | 10日 | 水 | 幼稚園入園式 |
| 11日 | 月 | ミニデイ（野甫） | 13日 | 土 | 羽地の駅 モスクの日 |
| 12日 | 火 | 卒業式（野甫小中） | 14日 | 日 | 羽地の駅 モスクの日 |
| 13日 | 水 | 県立高校合格発表 | 17日 | 水 | 伝統文化学習の日 弁当の日 |
| 14日 | 木 | ミニデイ（田名） | 27日 | 土 | 第8回伊平屋かかし祭り |
| 15日 | 金 | ミニデイ（前泊） こころの健康相談（PM） | 29日 | 月 | 海開き ウェルカムイベント 昭和の日 |
| 16日 | 土 | こころの健康相談（AM） | 30日 | 火 | 退位の日 |
| 18日 | 月 | 卒園式（幼稚園） | | | |
| 19日 | 火 | 卒業式（伊小） 予防接種 ミニデイ（我喜屋） | | | |
| 20日 | 水 | ミニデイ（島尻） 終了式（3校） | | | |
| 21日 | 木 | 春分の日 | | | |
| 23日 | 土 | 保育所卒園式 | | | |
| 25日 | 月 | ミニデイ（野甫） | | | |
| 28日 | 木 | ミニデイ（田名） 教職員離島の日 | | | |
| 29日 | 金 | ミニデイ（前泊） | | | |

伊平屋村人口動態（平成31年1月末現在）
 総人口 1,247(-4) / 男 674(-2) / 女 573(-2) / 世帯数 587(-2)

表紙写真：前泊の海岸

伊平屋村 HP へ
ジャンプできます

